

くるまの
ざっがく
CAR TRIVIA

このコーナーではクルマに関する
為になる雑学をご紹介します。
意外と知らないことがあるかも！？



これほどたくさんのタクシーが走っているのに、ガソリンスタンドでタクシーを見かけることがほとんどないことを不思議に思ったことはないでしょうか？ 実は、タクシーをガソリンスタンドで見かけないのは、そもそも燃料にガソリンを使用していないからです。私達が個人的に所有しているマイカーと同様に、レシプロエンジンで動いていることは間違いのないのですが、そのエンジンの燃料として使われているのは、プロパンガスなのです。あのガスコンロに使うプロパンガス（LPG）ですが、いったいなぜタクシーは、ガソリンではなくプロパンガスを使って走っているのでしょうか？

1 タクシーがプロパンガス（LPG）を使う理由

個人タクシーなどはガソリン車を使っていることも多いようですが、一般のタクシーの場合は一部のハイブリッド車を除いて、ほとんどのタクシーがプロパンガスを使用して走っています。なぜタクシーはガソリンではなくプロパンガスを使用して走っているのでしょうか？

理由① ガソリンとくらべて燃料費が圧倒的に安い

タクシーがプロパンガスを使っている一番の理由は、燃料費が安く済むからです。2024年10月現在、レギュラーガソリンの平均価格は1リットルあたり155円～170円ほどになっています。それに対し、プロパン車に使うオートガスは、1リットルあたりの価格が70円～85円前後。都心部のタクシーは1年で10万kmも走るといわれていますので、1リットル当たりの価格がこれだけ違っていると、プロパンガスとガソリンでは年間の燃料費に大きな差が生じることになります。

理由② 二酸化炭素の排出量が少なく環境にやさしい

プロパンガスを使って走る車の特徴として、排気ガスがグリーンで環境にやさしいという点があげられます。ガソリンの二酸化炭素の排出量を100とした場合、プロパンガスの排出量は85ほどになります。



理由③ プロパンガスの車であれば盗難防止になる

プロパンガスを燃料として使うことのメリットに、車が盗まれにくいという点があげられます。クルマ泥棒にしてみれば、一般のガソリンスタンドで給油することのできない車を盗んでも仕方がないからです。またタクシーは、私たちが普段乗っている乗用車とは、明らかに使い勝手が違います。ドアミラーの代わりにフェンダーミラーが取り付けられており、ハンドルの脇にシフトレバーがついているコラムシフトのマニュアル車がほとんどです。泥棒にとってはあまりうまみのないクルマといえるわけです。

2 なぜタクシー以外のクルマはLPガスを使わないの？

燃料代が安くて、しかも環境にやさしいということになれば、なぜタクシー以外のクルマもプロパンガスを燃料として使わないのか不思議に思う人もいるかと思いますが、しかし、プロパン車が一般的な乗用車として普及しないのには、それなりの理由があるのです。

まず、一番の理由としてあげられるのが、ガソリン車のようにいつでもどこでも給油できるような状況ではなく、プロパンガスを充填できるプロパンガススタンドの店舗数が非常に少ないという点です。

二つ目の理由は、ガスボンベのメンテナンス費用が発生するという点です。プロパン車には、高圧のガスボンベが積まれており、万が一このガスボンベが劣化してガス漏れなどを起こしては大変ですので、定期的メンテナンスをする必要があります。タクシーのように年間10万kmも走るのであれば、燃料費の節約分でタンクのメンテナンス費用などは十分にペイできますが、年間にせいぜい1万km程度しか走らない一般的な乗用車の場合には、割に合わなくなる可能性があります。

その他にも、ガソリン車と比較して、プロパン車の方がパワー不足だったり、プロパンガスボンベが設置されているため、トランクルームが狭くなってしまうなどといった点も乗用車にプロパンガスが普及しない理由のひとつです。

3 ハイブリッド車とプロパンガス車



↑トヨタから販売されているLPGハイブリッド車「ジャパンタクシー」。ローコストなプロパン×電気のハイブリッドとあるので、最近のタクシーでは多く見かける。

最近では、ハイブリッド車であるプリウスやプリウスαをタクシー車両として使っている会社も多くなり、タクシーのプリウスを街で見かけることも多くなりました。燃費で考えると、ガソリンを使用するハイブリッド車の方が圧倒的に燃費がいいからです。しかし2017年10月、プロパンガスのハイブリッド車「JPN TAXI」がトヨタから発売。これにより今までタクシー専用車として活躍していたクラウンコンフォートは2018年2月をもって発売は中止となり、長年のタクシー専用車としての役目を終えることになりました。「JPN TAXI」のJC08モード燃費は19.4km/Lとなっており、他のハイブリッド車と比べるとあまり燃費がよくないように感じますが、クラウンコンフォートと比べると約2倍の距離を走ることができます。



↑見慣れたタクシー専用車
トヨタ「クラウンコンフォート」。